



石川県教育支援センターやすらぎ羽咋教室通信第68号 令和5年3月発行

〒925-0021 石川県羽咋市吉崎町1番地2(羽松高校内)

TEL・FAX 0767-22-0345

URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~ushouh/yasuragi/index.htm>

春らしくなってきました。10月に呂知潟に飛来したコハクチョウも、3月になった途端に姿を見かけなくなりました。周辺に住むものにとっては物足りなさを感じる反面、春到来の合図でもあります。

冬の間、休眠状態だったやすらぎファームも、ジャガイモの植えつけに向けて始動しています。

漱石曰く「呑気と見える人々も、心の底を叩いて見ると、どこか悲しい音がする。」

西田幾多郎はというと「哲学の動機は驚きではなくして、深い人生の悲哀でなければならない。」

生前二人には表立った交流はありませんでしたが、二人を慕った人物には重なりがあるそうです。(西田幾多郎記念哲学館特別展『漱石と幾多郎』) そういえば「寅さん」。おいの満男と、

満男 「叔父さん、人間てさ、人間は何のために生きてんのかな？」

寅 「何だお前、難しいことを聞くなあ、ええ？・・・」

寅 「うーん、何て言うかな。ほら、“ああ、生まれてきて良かったな”って思うことが何べんかあるじゃない、ね。そのために人間生きてんじゃねえのか」

満男 「ふーん」

寅 「そのうち、お前にもそういう時が来るよ、うん。まあ、がんばれ」

(『男はつらいよ 寅次郎物語』)

さて次年度も、SV・SSW・SCの先生方の力をお借りしながら、さまざまな悩みや不安と謙虚に関わっていきたいと思います。気になる生徒への声かけ、ご利用をお待ちしています。

## 教育相談状況

( ) 内は令和3年度 3.10現在

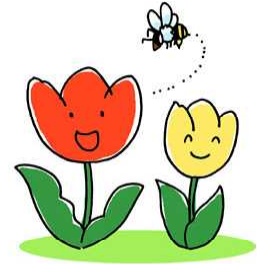
令和4年度	4月～11月	12月	1月	2月	3月	計
来所相談	62 (65)	4 (7)	5 (6)	3 (1)	3 (9)	77 (88)
出張相談	4 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (5)
電話相談	33 (75)	2 (6)	0 (3)	2 (5)	2 (7)	39 (96)
計	99 (145)	6 (13)	5 (9)	5 (6)	5 (16)	120 (189)

## お知らせ

- ◇ 令和5年3月24日(金)～4月7日(金)まで閉室となります。
- ◇ 次年度のSV・SSW・SC相談日につきましては、4月中旬に「やすらぎ羽咋教室ホームページ」等でお知らせします。

「笑顔」

やすらぎ羽咋教室 スーパーバイザー  
田幡 啓子 先生



歌手の絢香さんの『にじいろ』という曲の歌詞の中に、「眩しい笑顔の奥に悲しい音がする」というフレーズがあります。ドラマの主題歌なので、そのストーリーを表現しているのか、絢香さん自身の思いが込められているのかはわかりません。ただどちらにしても私が惹かれるフレーズです。

笑顔もいろいろありますが、深い悲しみを持った人にしか出せない眩しい笑顔があると思うからです。その一方で、悲しみや苦しみを人に悟られないように、一見眩しく見えるような笑顔をしている人もいます。それは笑っているのに辛く苦しいものであり、息がし辛い仮面を被っているようなものなのではないでしょうか。

訪れるお子さんや保護者の方が、「ここでは安心して仮面をとることができる」と感じてもらえるような場所となるよう、相談業務に携わる一人として努力していきたいと思っています。



「さなぎの時代」

やすらぎ羽咋教室 室長 井上 政人

日本の有名な心理学者に、河合隼雄先生という方がいらっしゃいました。中高生の心の問題についてカウンセラーとして相談にのり、悩みを解きほぐし、多くの人の心の悩みに光を当ててこられた方です。この河合先生は、ある人との対談の中で次のことを言っておられたそうです。「**だれでも『さなぎの時代』があるのです。表面から見ると少しも動いていないけど、心の中で大きな変化をして、見事にチョウの成虫になるための成長を自分の中でやっているのです。**」

さなぎの時代とは言うまでもなく悩み・もがく時代なのかも知れませんが、勉強・進路・将来のこと、友達のこと、家族のこと、何に悩んでいるか分からない、何だかイライラ・モヤモヤする、自分を大切に出来ない…答えのない悩み。

本教室のスタッフは、悩み多き生徒さんが「自分という『さなぎ』から脱皮して動きだすこと」を気長に待ちながら温かく寄り添っていこうと思っています。